

令和6年度 風の子保育園 事業報告

風の子保育園のめざすもの（運営理念）

- ①子ども達が自然の中でのびのび育つことのできる保育園
集団の中で一人一人が大切にされ、自主性と社会性を身につけ豊かな感情と思考力の発達をめざした保育を！
- ②産休明けから就学まで、年齢・障害・保育時間を問わず、保育を必要とする子ども・保護者の立場にたった保育の創造をめざそう！
- ③父母・職員・後援会・地域住民がひとつになって、皆でつくり皆で育て地域から愛される保育園に！
- ④子ども・父母・職員の立場を大切に、皆の財産である保育園を民主的に運営しよう！
- ⑤保育をめぐる様々な要求を大切に、その一つ一つを子どもと保育を必要とする父母の立場に立って、実現できるよう保育運動を発展させよう！

【 園内体制 】

園内体制では4月の園児全体数は106名からスタートし、3月の最終人数は119名となりました。0歳児は9名からでしたが、7月で定員12名に満たしました。1歳児は新入園児7名の希望があったため、4月当初から定員16名のところ18名まで受け入れをしました。10月より在園児の保護者の仕事復帰の為2名の入園望があり、保育士を1名採用し、15名までの受け入れ体制を整えました。また、12月に3歳児1名(転園)、1月に2歳児、3歳児、4歳児(新規、県外からの引っ越し)、3月に0歳児3名、4歳児に1名の途中入園(在園兄弟、新規、県外からの引っ越し)がありました。幼児の途中入園はあまりないケースではありますが、県外からの引っ越しのため、乳児と幼児のご兄弟が2組いました。従来、1月以降の入園は進級、卒園に向けて行っていませんでしたが、受け入れができたことは、定員割れしていることも一つですが、保育士体制を整えていること、0,1歳児の柔軟な保育体制をつくってきたこと、そして、園全体が落ち着いていることからできたと思います。

職員体制では、8月より育休明けの復帰職員1名と10月より0歳児臨時職員1名を採用しました。また、アレルギー除去食等に対する調理員を1月よりパート(4H)職員1名採用しました。清掃職員を9月より採用しましたが1月末で体調不良のため退職となりました。

令和6年度 年間園児数と入園状況 (定員120名)

歳児	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	9	10	11	12	12	12	14	14	14	14	14	16
1歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
2歳	19	20	21	21	21	21	20	20	20	21	21	21
3歳	23	23	23	23	23	23	23	23	24	25	25	25
4歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	19	19	20
5歳	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
合計	106	108	110	111	111	111	112	112	113	116	116	119

退園状況：9月末2歳児1名(家庭の事情)

2月末0歳児1名(引っ越し)

3月末1歳児1名

1, 保育

(1) 子ども一人一人の発達を保障し、子ども理解を深めていく

職員の職務職責を明確にするために、今年度はグループ担当としてクラス主任を複数配置しました。キャリアアップ研修に伴い、研修を通して学んだことを、それぞれの役割や責任を持ちながら保育の中で活かしていると思います。昨年度の5歳児保育をまとめ、合研の分科会で提案したことは、自分達の保育を振り返るだけでなく、改めて何が大事だったのかという確かめや他者からの意見等を聞き、新たな学びへと繋がっていったように思います。また、年明けに静岡たんぽぽ保育園、清水聖母保育園の異年齢保育の見学や、あいわこども園の子育て支援センターへの見学等の他園見学に行きました。他園からの学びは、新たな保育への発展へと繋がっていくと思います。

職員は、保育の中で子どもと向き合い、子どもを捉え、理解していくことを試行錯誤しながら保育をしています。自分達の保育を言語化し、理論づけていくことが今後の課題のように思います。そのためにも、それぞれの専門性をより高めてけるよう、研修や他園見学等を今後も充実させていきたいと思っています。

(2) 保護者と共に

夜の夏まつりの開催、0歳児から5歳児までの運動会の復活、バザーの拡大等、保護者の理解のもと行うことができました。その中で、今まで通りということにこだわるのではなく、今の時代や保護者のニーズを考えた時に、行事を行う意図や大事にしたいことは継続し伝えながらも、新たなやり方を考えていくことが必要だと思いました。

また、在園児だけでなく卒園生の参加も多く見られ、50周年に向けても卒園生・保護者をどう巻き込んでいくかも考えていきたいと思っています。あわせて、地域との繋がりと関係を広げていくことが今後の課題です。

(3) 地域事業を充実させていく

一時預かりや保育体験(2歳)を充実させるために、地域担当を2名(4Hパート)配置しました。利用人数は少なかったですが、複数いることで0歳児から柔軟な受入れができたと思います。また、『かぜのこ広場』の日として、地域の方への園庭開放日を設けました。来年度は、回数を増やし定期的に行っていきたいと思っています。

令和8年から子ども誰でも通園制度を見越した上で、園としてどうしていくのか考えていきたいと思っています。

2, 経営

(1) 職員の給与改善

俸給表の初任級変更に伴い、ベースアップと昇給を行いました。

処遇改善Ⅱでは、昨年度の副主任の職務職責が明確ではなかったため、分かりにくいという反省から主に乳児の職員配置のなかで、クラス主任を複数(グループ担当)作り、職務職責を明確にした上で、処遇改善Ⅱの対象としました。

人事勧告に伴い国家公務員の給与改定により、公定価格が引き上げられたことから、給与改善を行いました。

(2) LEDの申請・工事

中小企業等省エネ補助金が申請に伴い、エアコン・電気等の工事を行いました。

三菱電機 支払い 842,350円(内補助金 200万円) 工事期間 9月、10月

3, 防災

(1) 安全計画・業務継続計画の周知・実施

安全計画については、今年度の方針に基づき見直しをし、職員への周知を行いました。

業務継続計画については、実際に活用できるものとなっているのか再検討が必要に思います。

裏山に猿が出没するということがありました。子ども達を園庭に出さないという、園児の安全確保を行うと共に危険を察知し、役所や警察への連絡を行ってきました。猿に対しての対処は行いませんでしたが、子ども達の安全と保護者の安心を考え、対応の仕方を明確にしていきたいとします。また、他機関との連携、連絡が職員もみて直ぐにわかるようにするなど、見える化していくことも必要だと思ひます。

(2) 防災関係の内容の見直し(避難訓練、備蓄等)と強化

避難訓練計画の内容の見直しを行い、実施しました。

避難訓練計画においては、実際に起こる災害をより想定した上で、訓練を積み重ねていく計画、内容にしていきたいと思ひます。備蓄品の見直しでは、保管場所も含めて課題があります。検討課題とし、改善できるようにしていきたいと思ひます。

虹の家の耐震診断を行いました。幸工務店(176,000円)

結果 R6年 1.5 1階部分

H16年 1.0

評点	判定
1.5以上	◎倒壊はしない
1.0以上1.5未満	○一応倒壊はしない
0.7以上1.0未満	△倒壊する可能性がある
0.7未満	×倒壊する可能性が高い

4, 検討課題

(1) 近隣土地購入

未来検討会で土地購入にあたっての、活用の仕方について話し合いを進めてきました。職員会議にて、職員に周知してきました。地主さん側の都合により話し合いが中断しています。

園児の定員割れが続く中、新たな風の子保育園のアピールへと繋げていくためにも、早期購入に向けて具体的に構想を立て進めていきたいと思ひます。

佐藤さん 279.14㎡+25㎡(通路)=304.14 92坪

植田さん 500.55㎡+86㎡(通路)=586.55 177.43坪

計 269.43坪 金額 2,694万円